

第 60 回大会プログラム

10月16日(金) ワークショップ 18時~20時 (B棟)

1. 初等・中等教育に対する倫理学の貢献可能性
(*新田孝彦、*桑原直己、高木哲也、土屋陽介、山田圭一、村瀬智之/B44 教室)
2. 環境プラグマティズムの批判的検討
(*蔵田伸雄、寺本 剛、吉永明弘/B45 教室)
3. 教養教育としての倫理学(倫理学系科目)において、何をどう教えるのがよいか
(*田村公江、菊地建至/B46 教室)
4. 生と責任をめぐって—現象学的倫理学の現在—
(*吉川孝、横地徳広、池田 喬、武内 大/B47 教室) *印は責任者。

10月17日(土) 自由課題発表 9時30分~11時50分 (B棟)

第1会場 (B44 教室・司会：小野原雅夫)

- 9:30-10:10 西田雅弘 カントにおける世界市民主義の道徳的様相
—『人間学』と遺稿 Nr. 1524 を手がかりに—
- 10:20-11:00 小谷英生 カントの政治概念、その理論的背景および実践的有効性について
- 11:10-11:50 田原彰太郎 「普遍化可能性」はカント倫理学の基軸でありうるか

第2会場 (B45 教室・司会：樽井正義)

- 10:20-11:00 平田俊博 裁判員制度と死刑制度
- 11:10-11:50 中澤 武 ドイツの「時間政策」の論理と「ワーク・ライフ・バランス」の倫理

第3会場 (B46 教室・司会：戸島貴代志)

- 10:20-11:00 土屋靖明 ベルクソンにおける汎神論的思想と原始宗教的世界観
—神と神的なるもの—
- 11:10-11:50 豊岡めぐみ デカルトにおける情念と感覚表象の関係

第4会場 (B47 教室・司会：山田忠彰)

- 10:20-11:00 紺野茂樹 エヴリン・フォックス・ケラーの反二元論的エピステモロジー
—「ダイナミックな自立性」および「客観性」概念を中心に—
- 11:10-11:50 保坂直人 個の自律的変容に向けた新たな視点
—アルベルト・メルッチ アイデンティティ論の検討—

第5会場 (B21 教室・司会：氣多雅子)

- 10:20-11:00 原崎道彦 エルンスト・マッハにおける東洋体験
- 11:10-11:50 平田一郎 テイラーにおける世俗性と近代

第6会場 (B22 教室・司会：伊藤 益)

- 10:20-11:00 阿保知華 和辻思想の先駆的实践者としての二宮尊徳
- 11:10-11:50 小西達也 久松真一における宗教と哲学の一体性について

10月17日(土) 主題別討議 13時30分～16時30分 (B棟)

第1会場 (B21 教室)

自由意志の可能性

実施責任者 宇佐美公生

近藤智彦 ストア派の三つの顔
柴田正良 幻想としての自由意志と責任の帰属可能性
美濃 正 「自由意志」、ミニマムの自由、責任

第2会場 (B22 教室)

「アリストテレスの徳倫理学」に望みはあるか

実施責任者 篠澤和久

中畑正志 アリストテレスの言い分 —倫理的な知のあり方をめぐって—
土橋茂樹 アリストテレス離れの度合 —古典的徳倫理学の受容と変遷—
都築貴博 近代道徳哲学と徳倫理学 —ウィリアムズの所論を踏まえて—

第3会場 (B31 教室)

日常と偶然 — 和辻 vs 九鬼

実施責任者 竹内整一

田中久文 日常性の深みをどうとらえるか? — 和辻・九鬼・西田
宮野真生子 九鬼哲学における「日常」と「偶然」
森 一郎 人間関係の網の目は、為すすべないものなのか — 日常と偶然
片山洋之介 総括コメント

10月17日(土) 会員総会 16時40分～17時30分 (B11 教室)

- ・議長選出
- ・会長挨拶
- ・次年度科学研究費配分委員候補者選挙
- ・平成20年度決算及び監査報告
- ・平成21年度予算
- ・一般会務報告
- ・和辻賞選考結果報告
- ・第61回大会開催校について(開催校代表挨拶)
- ・その他

10月17日(土) 懇親会 18時00分～19時30分 (C 1 (1syoku))

10月18日(日) 自由課題発表 9時30分～11時50分 (B棟)

第1会場 (B44 教室・司会: 八幡英幸)

9:30-10:10 藤尾靖彦 「幸福に相応しい」ということと恩寵
—カントにおける最高善の可能性を巡って—
10:20-11:00 木村恵子 「道徳性」の叙述としての「関心」概念の働き

11:10-11:50 大森一三 カントにおける宗教と文化の関係について

第2会場 (B45 教室・司会：伊勢田哲治)

9:30-10:10 金光秀和 技術的人工物の道徳性 — 技術をめぐる新たな倫理的考察 —

10:20-11:00 堀井泰明 なぜ人はケアするのか — 看護倫理の基底をめぐる —

11:10-11:50 御子神隆也 生命の尊厳の基礎づけに関する一考察

第3会場 (B46 教室・司会：坂下浩司)

9:30-10:10 吉武光雄 プラトン『メノン』における知識の条件としての *aitia* の意味

10:20-11:00 三浦太一 魂は何に似ているか？

— プラトン『パイドン』魂不死論証における

「親近性の議論」の再評価 —

11:10-11:50 佐良土茂樹 アリストテレス『ニコマコス倫理学』におけるエウダイモニア論

第4会場 (B47 教室・司会：成田和信)

9:30-10:10 星川道人 意志の弱さはいかにして不可能か

10:20-11:00 内藤宏樹 人格同一性 — 理由と行為主体 —

11:10-11:50 鶴田尚美 不死と退屈 — ウィリアムズの議論から —

第5会場 (B21 教室・司会：藤野 寛)

9:30-10:10 川野美玲 ニーチェ『悲劇の誕生』における

「根源的一者 *das Ur-Eine*」について

10:20-11:00 庄子 綾 無言の歴史としての啓蒙

11:10-11:50 見附陽介 今日の疎外論 — 「我有化(*Aneignung*)」概念の可能性について —

第6会場 (B22 教室・司会：高橋文博・勢力尚雅)

9:30-10:10 杉本耕一 道元の「行」と田辺元の「行為」

10:20-11:00 木澤 景 「臨終」とはいかなる時節か — 『往生要集』の臨終の行儀 —

(以上、司会：高橋文博)

11:10-11:50 萬屋博喜 行為の原因と慣習の原理 — ヒュームの観点から —

(以上、司会：勢力尚雅)

10月18日(日) 共通課題「死生観」13時00分～17時00分 (B11 教室)

13:00-13:05 窪田高明 共通課題実行委員会から趣旨・方法の説明

13:05-13:30 川井博義 生死をめぐる連続と断絶 — 『萬葉集』のうたを通じて —
(要点確認の簡単な質疑 5分)

13:35-14:00 田坂さつき 死生の現場における問答 — 古代ギリシアの哲学から —
(要点確認の簡単な質疑 5分)

14:05-14:30 関根清三 生の贈与と死にまつわる罪責 — ヘブライズムの場合 —
(要点確認の簡単な質疑 5分)

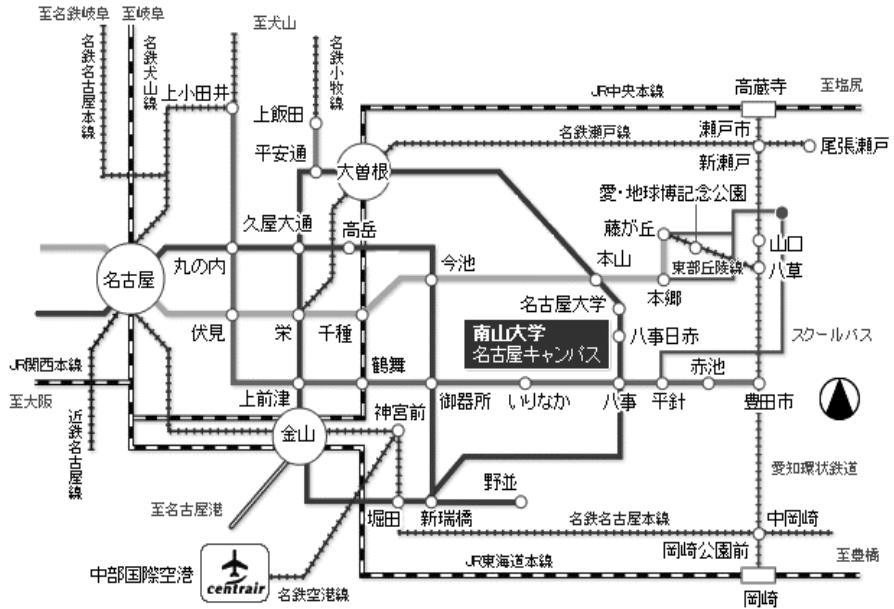
14:35-14:55 中岡成文 特定質問
(提題者からの回答 15分)

15:10-15:20 休憩

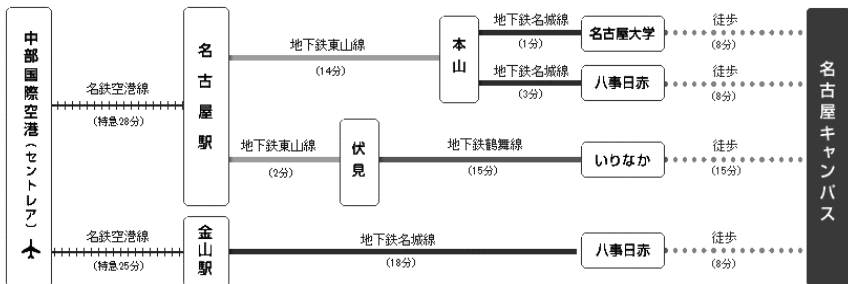
15:20-17:00 全体討議 (司会：清水 哲郎)

大会会場（南山大学・名古屋キャンパス）アクセッスルート・キャンパスマップ

●アクセッスルート（1）



●アクセッスルート（2）



【JR 名古屋駅から】地下鉄東山線名古屋駅から「藤が丘」行きに乗り、「本山」駅下車（所要時間 14 分）。地下鉄名城線の右回りに乗り換え、「名古屋大学」駅 1 番出口（所要時間 1 分）、あるいは「八事日赤」駅（所要時間 3 分）より徒歩 8 分。

【中部国際空港から】名鉄空港線で金山駅まで行き（特急で 25 分）、金山駅で地下鉄名城線の左回りに乗り換え、「八事日赤」駅（所要時間 18 分）、あるいは「名古屋大学」駅 1 番出口より徒歩 8 分。

【営名古屋空港から】高速バスにて名古屋駅（所要時間 23 分）か栄（所要時間 16 分）まで行き、地下鉄東山線・名城線で地下鉄名城線「名古屋大学」駅 1 番出口、あるいは名城線「八事日赤」駅より徒歩 8 分。【JR 名古屋駅から】を参照。

（※会場には利用可能な駐車場がありませんので、公共交通機関にてご来場ください。）

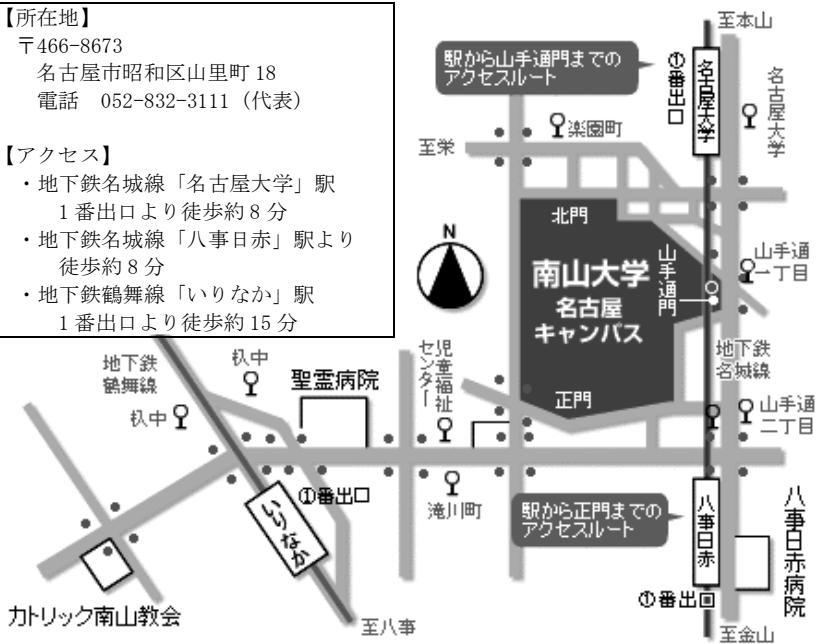
●キャンパスマップ（1）：所在地

【所在地】

〒466-8673
 名古屋市昭和区山里町18
 電話 052-832-3111（代表）

【アクセス】

- ・地下鉄名城線「名古屋大学」駅
1番出口より徒歩約8分
- ・地下鉄名城線「八事日赤」駅より
徒歩約8分
- ・地下鉄鶴舞線「いりなか」駅
1番出口より徒歩約15分



●キャンパスマップ（2）：会場見取り図

